



大地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
 発行日: 平成21年 10月 15日
 TEL : 083-252-2227
 FAX : 083-252-2259
 E-mail jinenjo@jinenjo.or.jp
 http://www.jinenjo.or.jp



じねんじょフェスティバル・

5周年記念行事に寄せて

社会福祉法人じねんじょ

理事長 金原洋治

皆様におかれましては、当会の活動にご支援いただき感謝しております。御陰様で、じねんじょは6年目の実りの秋を迎えましたので、今年は、毎年開催しているじねんじょフェスティバルを、5周年記念行事と併せて開催させていただきます。

5周年記念行事を企画するにあたって職員と意見交換をしました。まず利用者の方々が楽しめ、お世話になっている皆様に感謝する企画にする。次に、今までの活動の記録をまとめること、そして、次の5年、10年に向けた活動について考える新たな起点になるような企画をして欲しいと申しました。

記念行事の一つとして、記念誌を発行しますが、「じねんじょができるまで」という原稿を書かせて頂きました。懐かしい写真を眺め臙げな記憶を呼び起こしながら原稿を書きました。やはり「じねんじょ」は、昭和59年に始まった「下関市に療育センターをつくる会」の活動に起点がありますので、4分の1世紀の年月が経ったこととなります。私の髪の毛もふさふさとまではいわないまでも結構多くスリムでしたし、皆さんもとても若かったですね。それから、まだこの世に誕生していなかった職員もいることに初めて気がつきました。

療育から地域生活支援への視点の大きな転換があったのは、下関市こども発達センターが開設された翌年、平成8年に開催された遊花フォーラムの「朋」の日浦美智江さんの講演でした。日浦さんの講演に胸が震えた記憶が今でも蘇ります。次の起点は、その2年後の平成10年に「デイケアハウス きのみ」ができたことです。さらに6年後に「じねんじょ」が誕生しました。

このように今までの経過を振り返ると、ほぼ5年単位、10年単位で新たな起点があったようです。激動の時代ですので、政治も経済も文化も医療も10年先のことまでは漠然としすぎて視界が不明瞭です。

自分の人生設計もそうですが、漠然とした長期的な展望や夢を描きながらも5年先くらいの目標と計画をたて、日々の暮らしの中では、「明日が今日よりも少しだけ良くなること」を願いながら日々を過ごしていくことが大切だと思います。

5周年記念イベント開催のお知らせ

平成21年4月にじねんじょが開所して丸5年が経過しました。“地域で暮らしたい”という想いを実現するため、多くの方々に支えられてこの日を迎えることができました。皆様、本当にありがとうございます。

そこで、下記日程において5周年記念イベントを開催致します。皆様お誘い合わせの上、遊びに来て下さい。心よりお待ちしております。

なお、当日に記念冊子を配布致しますが、数に限りがございます。御入り用の方は、直接じねんじょの方へご連絡頂きますようよろしくお願い致します。

記

日 時：平成21年11月1日（日） 10時～15時

場 所：社会福祉法人 じねんじょ

内 容：記念イベント 講演会、音楽演奏、活動風景の写展・作品展 など

活動紹介

じねんじょ



むくっこ

むくっこも

手と手のぬくもり、



むくのみんなで音楽活動



外で食べたお弁当。



良い天気だね、一緒に歩こう

むく



新聞紙を使って工作



むかご

むかごの夏休みは

じねんじょDEインタビュー

今回は、毎週月曜・金曜にマット交換に来られているダスキンの中村さんにインタビューをしました♪

じねんじょのメンバーさんの印象は？

私の仕事を不思議そうに見ていて、言葉だけでなく表情でも語ってくれるのが印象的です。

じねんじょのイメージは？

一人ひとりが根気良くみんなと交流していると思います。

近所に福祉施設があることについてどう思いますか？

身近にあって、悩みのある方がすぐに来られ、一人で悩むことがなくなり、非常に良いことだと思います。

最後に一言コメントをお願いします。

みんなの姿がやさしそうでいい！



じねんじょの“輪”

～じねんじょと繋がりのある方々から一言コメント～

じねんじょでは、スタッフのみなさんの甲斐甲斐しい奮闘ぶりにいつも感心しています。

でも私には週に1度の楽しいひとときです。

メンバーさんに仲間のように接していただき、それとても嬉しく思います。

じねんじょではたくさんの出会いや貴重な体験をさせていただいています。

メンバーさんの笑顔やふれあいがとてもありがたく感謝しています。

百名妙子

☆これからも宜しくお願いします！！

今年度から運行開始

今年度から送迎にご協力頂いているサンデン交通のジャンボタクシーを紹介します。

メンバーの増加に伴い、じねんじょの車だけでは満足いく送迎ができない現状がありました。そこで、送迎のニーズに応えるため、国の促進事業である「通所サービス等促進事業」を申請し助成金を受けジャンボタクシーの経費に補填し、現在運行しております。

可愛らしい、ふぐのバスを見かけたらじねんじょのメンバーが乗車しているかもしれません・・・♪♪



寄付者氏名(敬称略、順不同)

- やまぐち小児科 H 21.3.30 ~ H 21.10.7 現在
- れんげ畑
- 名和美代子
- (有)大平物産SHU-CUPゴルフコンパ
- もみの木薬局
- 梶間やよひ
- 陶芸サロン じねんじょ窯
- 百名妙子
- じねんじょ保護者会
- さをり織りサークル

たくさんのご寄付を頂きました。ありがとうございました。

編集後記

秋晴れの心地よい季節となりました。

心地よい季節の中で、じねんじょ5周年記念イベントに向けて、メンバー・スタッフ、力を合わせて準備を進めています。その中で、地域のたくさんの方々のご協力をいただいていることを、多く感じています。

今号は、地域とのつながりを中心に編集させていただきました。これからも、メンバーと地域に出て、みなさんに来ていただき、10年・20年とつながりの輪が広がっていかれたらと思います。

インタビューやコメントにご協力して下さった皆様、ありがとうございました。

(編集委員)